おやこであそぼう
～　絵本と、わらべうたの時間　～

2015年 6月17日

☆絵本・紙芝居

ぽつぽつぽつ（福音館書店）作・絵：増田純子
おさんぽおさんぽ（福音館書店）作・絵：広野多珂子
かさ かしてあげる（福音館書店）作・絵：こいでやすこ
ぼくのおうちは？～紙芝居～（童心社）作：中川ひろたか／絵：長野ヒデ子

☆わらべた・童謡

♫あめんなかから

あめんなかから
きんたさんと　ぎんたさんが
めえるよ
ばぁ～～

♫ぽっつんぽつぽつ

ぽっつんぽつぽつ　あめがふる
ぽっつんぽつぽつ　あめがふる
ざあ～～～～っと　あめがふる

♫ほたるこい

ほ　ほ　ほたるこい
あっちの水は　にがいぞ
こっちの水は　あまいぞ
ほ　ほ　ほたるこい

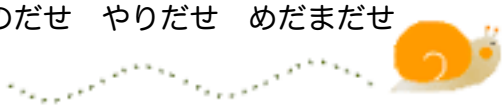
♫ほたろほたろ（谷保のわらべうた）

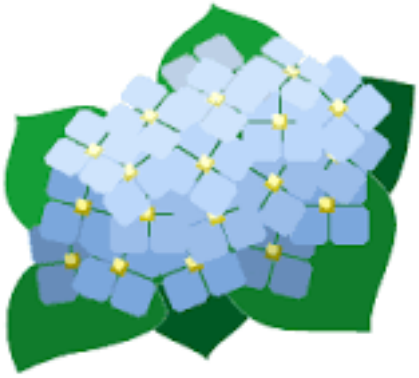
ほたろ　ほたろ　こいこいこい
やまぶき　こいこいこい
ほたろさんの　よめとりは
おちょうちんも　いらず　なんにも　いらず
おけつのひかりで　とんでこい

♫かたつむり

でんでんむしむし　かたつむり
おまえのあたまは　どこにある
つのだせ　やりだせ　あたまだせ

でんでんむしむし　かたつむり
おまえのめだまは　どこにある
つのだせ　やりだせ　めだまだせ





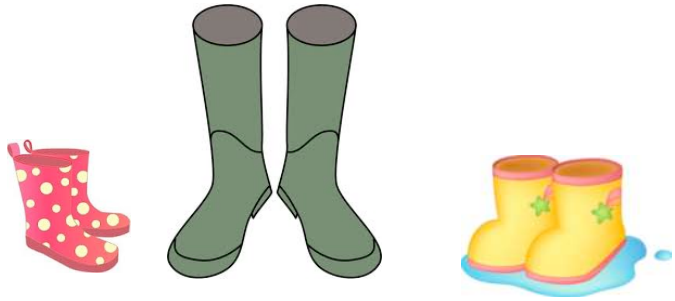
☆こころとからだのおはなし（5月のお話）

５月は、パンの本をたくさん読みました。
小さい赤ちゃんにとって、パンを口に入れるのは、まだまだ先のこと・・・
いえいえ、きっとあっという間に、美味しいパンを、口いっぱいにほおばる日が訪れることでしょう。
子どもが、ひとりで食べられるようになった姿は、お母さんにとっては、ちょっと寂しいけれど、やはり、ほっとする時でもあるでしょう。
勿論、それまでは、お母さんのおっぱいが栄養！
おっぱいから離乳食へ、そして段々と大人と同じようなものが食べられるようになり、食事は変化して行きます。
それは子どもの何よりの成長の証です。
食事～体をつくる栄養～の形や内容は変化していっても、心の栄養が、お父さんやお母さんの気持ちであることは、変わりません。
いつ、どんな時でも「変わらない親の心」が、子どもにとって、何よりの心の栄養になるのですね。

紹介本

かたつむり（福音館書店）作・絵：得田之久
あかちゃんかたつむりのおうち（福音館書店）
作：いとうせつこ／絵：島津和子
かさ（福音館書店）作：松野正子／絵：原田治
はっぱのおうち（福音館書店）作：征矢清／絵：林明子
かたつむりのひみつ（ひさかたチャイルド）
シリーズ：自然にタッチ
かたつむりののんちゃん（童心社）作：高家博成／絵：仲川道子
あまやどり（偕成社）作：七尾純／写真：久保秀一

７月の『絵本とわらべうたの会』は第3水曜日の15日です。



クリスト・ロア修道会
TEL０４２（４６５）８６２０